

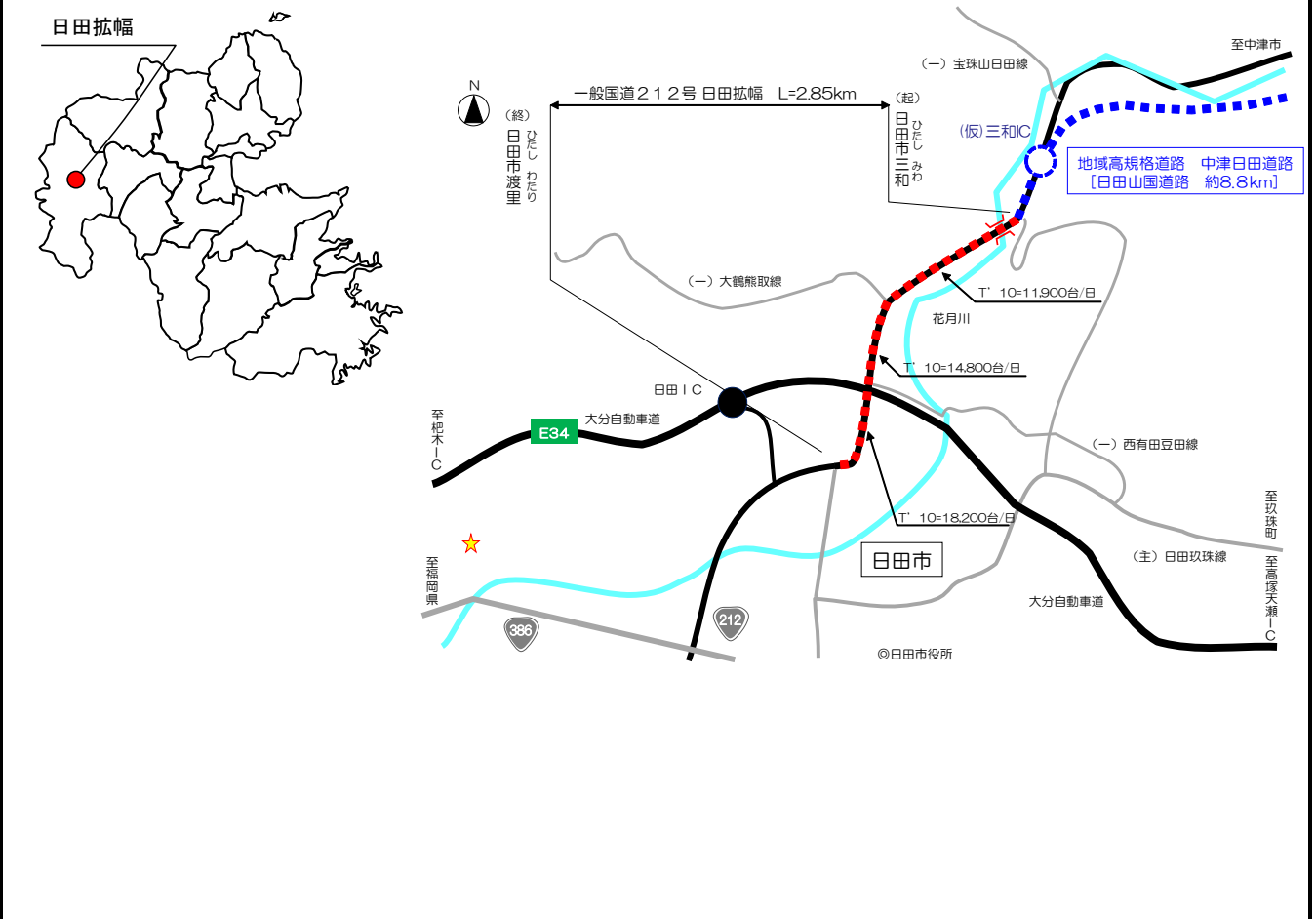
再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名 地域高規格道路 I C アクセス道路 一般国道 2 1 2 号 日田 ^{ひた} 拡幅 ^{かくふく}	事業区分 一般国道	事業主体 大分県		
起終点 自：大分県日田市大字三和 ^{おおいた ひた みわ} 至：大分県日田市大字渡里 ^{おおいた ひた わたり}	延長 2. 8 5 km			
事業概要 当道路は、地域高規格道路中津日田道路「日田山国道路」（延長約 8. 8 km）の（仮）三和 I C へのアクセス道路であり、日田市と中津市とのアクセス改善による産業、観光等の支援をするとともに、安全で円滑な交通の確保を目的とした現道拡幅事業である。				
H 2 3 年度事業化	S 3 9 年度都市計画決定 H 2 4 年度都市計画変更	H 2 5 年度用地着手 H 2 7 年度工事着手		
全体事業費	8 5 億円	事業進捗率 8 5 % 供用済延長 0. 2 4 km		
計画交通量 16, 100~21, 100台/日				
費用対効果分析結果	B / C (事業全体) 1. 3 (残事業) 5. 9	総費用 (残事業)/(事業全体) 2 0 / 1 0 1 億円 (事業費： 16 / 96 億円) (維持管理費： 3. 8 / 4. 2 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 1 2 0 / 1 3 1 億円 (走行時間短縮便益： 107 / 116 億円) (走行経費減少便益： 11 / 12 億円) (交通事故減少便益： 2. 4 / 2. 6 億円)	基準年 令和 4 年
感度分析の結果 【事業全体】交通量変動： B/C=1. 2~1. 4（交通量 ±10%） 事業費変動： B/C=1. 3~1. 3（事業費 ±10%） 事業期間変動： B/C=1. 3~1. 3（事業期間±20%）				
事業の効果等 ①交通の円滑化やアクセス向上 ・日田市街地と中津市とのアクセス向上が図られる。 ②交通混雑の緩和 ・交通混雑の緩和及び旅行速度の向上が図れる。 ③歩行者、自転車空間の確保 ・自転車歩行者道の整備により、交通安全性の向上が図られる。				
関係する地方公共団体等の意見 大分県日田市、中津市、熊本県阿蘇市、小国町、南小国町長や市・町議会議員及び商工会議所で構成する一般国道 2 1 2 号改修促進期成会（会長：日田市長）による要望活動が行われている。				
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地補償進捗率約97%、事業進捗率約85%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 市街地部の事業のため、補償物件が多いが、地元や関係機関と協力しながら、用地買収を積極的に進め、早期供用に努める。				
施設の構造や工法の変更等 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。				
対応方針 事業継続				
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。